



篠二中だより

令和6年4月12日（金）発行
令和6年度 第1号
江戸川区立篠崎第二中学校

◇ 新年度がスタートしました

校長 蓮沼 祥之

4月8日(月)の始業式から令和6年度の教育活動がスタートしました。今年度も、生徒たちの成長のため、保護者の皆様・地域の皆様と連携しながら、教育活動の充実に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

始業式では、3年生に校長から2つのキーワードを伝えました。

「挨拶の声が飛び交う学校にしよう」「自分を大切に 人を大切に 今を大切に 未来を大切に」

挨拶については、昨年4月から様々な機会に生徒たちに話をしたり、教員からも声かけや指導を繰り返してきました。「朝の登校中に明るく挨拶してくれる生徒がいます」と地域からうれしい話が入ることもあり、生徒たちの挨拶の様子は日に日によくなってきています。進級し、新入生が入り、また一段レベルアップした挨拶を目指していきたいと考えます。ご家庭でも「おはよう、いってきます、ただいま、いただきます、ごちそうさま、おやすみ」などの挨拶ができるよう声かけをいただければ幸いです。

「自分を大切に……」については、次回の朝礼で生徒たちに話をしたいと考えています。来月発行の学校だよりで内容についてお伝えしたいと思います。

◇ 着任式

始業式に先立ち、今年度本校に着任した教員の紹介を行う「着任式」を行いました。今回は育児休業からの復帰を含めると13名の方が新しく「チーム篠二」のメンバーになりました。また、時間講師の方が2名、校内別室指導支援員の方が1名、新しく加わります。「連携・協働」を合言葉に、全教職員で生徒たちのために力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。

また、3月25日には昨年度末をもって本校を去られる先生方の「離任式」を行いました。一人ずつ生徒たちに向けてメッセージをいただき、生徒たちから感謝の気持ちを込めて花束を贈りました。4月からそれぞれの新しいステージでご活躍されることを祈っています。



◇ 120名の新入生を迎えて～入学式～

4月9日(火)、あいにくの天候の中でしたが、多くのご来賓、保護者の方々、在校生代表の3年生全員が見守る中、温かい雰囲気での入学式が行われました。

一人一人の呼名では、精一杯の大きな声で「ハイ」と返事ができました。3年生からの歓迎の言葉も、新入生の誓いの言葉も、心がこもった素晴らしいものでした。

式の終盤では、代表生徒の指揮・伴奏に合わせて、会場中に響き渡る校歌斉唱を最上級生となった3年生が聞かせてくれました。

感染症拡大により、新入生だけの入学式がしばらく続きましたが、久しぶりの新入生・在校生がそろった式を行って、とても感動的でした。

